

令和5年度事業計画

公益財団法人
中田俊男記念財団

1. 概要

公益財団法人牛乳博物館として、酪農乳業史を広く普及啓蒙を図り、後世に伝授する使命を果たすため、地域と提携して資産の収集、施設の保全及び教育研修など博物館管理の事業を下記のように実施する。

2. 事業活動

1) 牛乳博物館の運営

- ①来館者の便宜をはかるため、必要に応じ陳列方法の改善及び説明方法パネル設置などの検討を行う。
- ②来館者に告知するため、ホームページ及びブログ（近藤氏撮影）など利用してSNSで情報公開をする。
- ③博物館の運営の在り方について外部からのコンサルを招いて実施する
- ④資料展示室にバックヤードを造り整理整頓をする。

2) 牛乳博物館の資産管理

- ①資産は原則として貸出は行わない。
- ②資産は目録台帳を作成して管理をおこなう。
- ③資産の補修（書籍を含む）及び保存管理の徹底をはかる。
- ④展示出来ない資産の保存管理は充分おこなう。
- ⑤資産を保存するため、温度・湿度及び防虫管理を行う。

3) 牛乳博物館の資産の収集及び調査分析

- ①資産は酪農乳業史に必要な物を収集する。（ただし購入限度額を定める）
- ②収集資産で必要のものは分析調査を実施する。
- ③資産の普及啓蒙を図るため冊子など作成する。

④資産の公開するため、各種イベントの出品（許可必要）及び刊行物に掲載する。

⑤資産を分析するため関係者と情報交換する。

4) 牛乳博物館と地域の提携

①地元の学校と提携し牛乳及び歴史について生徒と共に勉強会を開催する。

②地域と密接の交流をはかり牛乳文化の交流をはかる。

5) 牛乳博物館の調査および研修

①牛乳博物館担当者は外部施設の調査研修をする。

②牛乳博物館担当者は外部シンポジウムなどで研修に参加する。

3. 事業活動報告

事業実績を理事会に報告する。